

投稿ひろば

### 築上東 Music-Lovers' 巣雁コンサートプロジェクト 地域が一丸、巣雁の里の音楽会

11月12日(土)に、東上集会所で第8回すがりコンサートが開催されました。今回は「東日本大震災被災地の救援に役立てたい」と、今年新調したテントを活用して、東上の皆さんが持ち寄った農産物や加工品のチャリティ販売も行われました。

第1部は、友枝子供神楽に始まり、93歳の原口佳子さん(東上)の日舞、ゲストのソプラノ歌手の岡里子さんの美しい歌声や、三線弾き語りの宮村みつおさんのユーモア溢れるトークと澁刺とした歌声に合わせて、参加者みんなと一緒に歌ったり手拍子したり、笑顔いっぱいの楽しい時間を過ごしました。

第2部は、築上東Music-Lovers'が、人気の「ビリーブ」や「吾亦紅」ほか6曲を演奏。アンコールでは紋所を片手に飛び出してきた参加者のリクエストに「水戸黄門」と「暴れん坊将軍」で応え、最後は恒例の旧東上小学校校歌の大合唱で、盛況のうちに幕を閉じました。

締め括りには、主催者を代表して貴村さんからお礼のあいさつがありました。「大勢いの来場者、そして、協力してくれた関係者の皆さんに感謝します」と感極まって涙する貴村さんには、参加者全員から温かい拍手が贈られました。みんなが一丸となってコンサートを盛り上げている東上は、連帯感がある元気な地域として内外から注目されています。旧東上小学校跡地を活用して交流の拠点となった東上集会所では、近年、独自の文化祭をはじめ、ホテル観賞ツアーなど様々なイベントが行われ、地域の皆さんが楽しみながら運営に加わっています。来年の企画にも期待が高まります。



**義援金**  
**30,033円**

特産品のチャリティ販売という初めての試みに17名の方がご協力ください、販売額は72,501円となりました。売上の2割を義援金に抛出すという無理なお願いをしましたが、予想を大きく上回る30,033円が集まり大変感謝しています。義援金は社会福祉協議会を通じて被災地に届けます。本当にありがとうございました。

### 安雲西交流会 子ども会の美化活動

8月28日(日)、子ども会で清掃活動を行いました。子どもたちが家庭でもゴミを分別できるように、今回集めたゴミで分別の体験を行いました。みんなで地域の美化に取り組むことで、明るい地域づくりを目指しています。



### 有田地区炭焼き保存会 巣雁山の遊歩道づくり

有田地区グリーンツーリズムの目玉体験として、巣雁山(通称「有田富士」)の登山が楽しめるように整備していた遊歩道と展望スペースが、12月18日(日)に完成します。来春、花見のときに山開きを開催する予定ですので、ぜひ、遊びに来てください。

問い合わせ先 ☎ 090-1197-8294(代表 中尾健)



### 松尾山修験道回峰行実行委員会 雨にも負けず荒行に挑む

11月5日(土)に、松尾山修験道回峰行が開催されました。今年で4回を数えるこのイベントは、秋の定番ウォークとなっています。修験の里「松尾山(西友枝)」の山伏たちが行っていた峰入り修行の足跡を辿る旅。昨年に続き、町内の行場を巡るコース(全長28km)に、総勢60名を超える参加者がエントリーしました。最も遠方からの参加は大牟田市在住の方で、この日のために前日から宿泊されていたそうです。

今回の醍醐味は、土佐井の通称「荒尾の鼻」から入山し、「鷹崖仏」「梵字大石」のある西峰の尾根を越え、松尾山三社神社を目指す区間。今にも獣が現れそうな林の中ですが、比較的起伏も少なく、落ち葉の絨毯が続く山道は、とても歩きやすいと好評でした。また、コース途中にあるヌタ(=沼田)と呼ばれる巨大な水溜りには、そのスケールの大きさに歓声が上がっていました。



前夜から降り続けた雨は、終盤になってようやく小康状態となりました。途中、一度はリタイアした参加者も再びコースに復帰し、無事全員完歩することができました。

完歩後のお楽しみは、食生活改善推進協議会が提供する山伏料理です。昨年から研修会を開催しながら研究を重ねています。今年は、従来のメニューにさらにアレンジを加えた鹿肉ハンバーグや猪汁も人気を博していました。

実行委員会の福本会長は、松尾山の修験道跡を和歌山県の熊野古道にちなんで「松尾古道(まつのこどう)」と呼んでいます。古い文献を頼りに行者の道を掘り起こし、毎年新しいコースを紹介してファンの期待に応えようとするスタッフの熱意が、参加者の心を惹きつけています。野を越え、山を越え、長距離を踏破する達成感に加え、山伏たちの足跡を辿りながら、当時の様子を想像する面白さがたまりません。

